



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日

上場会社名 アツギ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3529 URL <https://www.atsugi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 洋志

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理統括 (氏名) 古川 雅啓

TEL 046-235-8107

四半期報告書提出予定日 2021年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	10,414	△32.8	△1,722	—	△1,257	—	△1,087	—
2020年3月期第3四半期	15,500	△9.8	△121	—	105	△68.4	△4,947	—

(注)包括利益 2021年3月期第3四半期 △74百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 △5,030百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△67.81	—
2020年3月期第3四半期	△308.59	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	44,262	35,426	79.8
2020年3月期	42,395	35,756	84.0

(参考)自己資本 2021年3月期第3四半期 35,306百万円 2020年3月期 35,630百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,300	△11.8	△2,300	—	△1,600	—	△1,700	—	△106.05

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	17,319,568 株	2020年3月期	17,319,568 株
2021年3月期3Q	1,290,655 株	2020年3月期	1,288,842 株
2021年3月期3Q	16,029,863 株	2020年3月期3Q	16,032,500 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(企業結合等関係) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞により、企業収益や雇用環境は大幅に悪化しました。段階的に経済活動のレベルが引き上げられ徐々に回復の動きが見られたものの、新型コロナウイルス感染症が再拡大するなど、先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

繊維業界においては、緊急事態宣言に伴う商業施設等の臨時休業や営業時間短縮、外出自粛要請等により実店舗における衣料品販売が総じて苦戦するなど、個人消費は急激に冷え込み厳しい環境にあります。

このような状況において当社グループは、現在取り組んでいる中期経営計画『ATSUGI VISION 2020』で掲げる「企画・開発と営業戦略の融合」、「繊維事業におけるバランスの改革」、「製造原価の低減」、「女性の美と快適に「健康」をプラス」、「生産性の向上」の5つの課題への取り組みに加え、これらを強化するための施策として、2019年度より「事業構造改革」、「業務構造改革」、「コスト構造改革」の3つの構造改革を推進することにより、次の時代を見据えた事業構造への転換を図り、強固な事業基盤の構築を目指しております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大により春先から百貨店をはじめとした取引先店舗の営業自粛や営業時間短縮、在宅勤務の推奨の動きなどの新たな生活様式への変化によるストック需要の減少等が、当社の主力商品の生産、販売に大きな影響を与えました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,414百万円（前年同四半期比32.8%減）、営業損失は1,722百万円（前年同四半期は121百万円の損失）、経常損失は1,257百万円（前年同四半期は105百万円の利益）、また、投資有価証券売却益を特別利益に計上したこと及び投資有価証券評価損を特別損失に計上したこと等により親会社株主に帰属する四半期純損失は1,087百万円（前年同四半期は4,947百万円の損失）となりました。

セグメント別の経営成績を示すと、次の通りであります。

## 〔繊維事業〕

レグウェア分野は、新型コロナウイルス感染症の拡大による取引先店舗の営業自粛、在宅勤務や外出自粛の広がりを背景とした個人消費の冷え込み、生活様式の変化等の影響を受け、プレーンストックなどのベーシック商品の販売が期初より苦戦し、更には最盛期である秋冬期におきましても、タイツなどの季節商品を中心に厳しく、同分野の売上高は7,306百万円（前年同四半期比39.5%減）となりました。

インナーウェア分野も同様、新型コロナウイルス感染症の拡大による取引先店舗の営業自粛、外出自粛等の影響を受け、同分野の売上高は2,175百万円（前年同四半期比13.1%減）となりました。

これらの結果、繊維事業の売上高は9,482百万円（前年同四半期比34.9%減）、営業損失は1,973百万円（前年同四半期は281百万円の損失）となりました。

## 〔不動産事業〕

保有資産の有効活用を進めておりますが、当事業の売上高は431百万円（前年同四半期比0.7%増）、営業利益は295百万円（前年同四半期比40.9%増）となりました。

## 〔その他〕

その他の事業につきましては、太陽光発電による売電は順調に推移しました。介護用品の販売は外出自粛の影響などにより一時苦戦しましたが、その後は堅調に推移しました。また、2020年4月より認知症高齢者向け介護施設であるグループホームを開設しております。これらの結果、当事業の売上高は500百万円（前年同四半期比0.9%増）、営業利益は25百万円（前年同四半期比27.8%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は44,262百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,867百万円増加いたしました。これは主に、たな卸資産の増加1,249百万円、前渡金の増加783百万円、売上債権の増加646百万円、投資有価証券の増加517百万円、および現金及び預金の減少1,379百万円等によるものであります。

負債の部は8,836百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,197百万円増加いたしました。これは主に、仕入債務の増加1,016百万円、未払金の増加430百万円、繰延税金負債の増加386百万円および未払費用の増加324百万円等によるものであります。

純資産の部は35,426百万円となり、前連結会計年度末に比べ329百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失1,087百万円の計上や、前期決算に係る配当金240百万円による減少およびその他の包括利益累計額の増加1,006百万円等によるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は79.8%（前連結会計年度末は84.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2020年10月30日公表の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,120	6,740
受取手形及び売掛金	3,198	3,844
商品及び製品	5,001	6,182
仕掛品	1,421	1,522
原材料及び貯蔵品	491	459
その他	495	1,235
貸倒引当金	△113	△132
流動資産合計	18,615	19,852
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,726	1,992
機械装置及び運搬具（純額）	1,882	1,750
土地	13,098	13,098
建設仮勘定	209	115
その他（純額）	43	61
有形固定資産合計	16,960	17,018
無形固定資産	167	177
投資その他の資産		
投資有価証券	6,448	6,966
繰延税金資産	12	5
その他	193	244
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	6,652	7,213
固定資産合計	23,780	24,409
資産合計	42,395	44,262

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,981	2,997
未払法人税等	133	40
賞与引当金	102	34
返品調整引当金	—	36
その他	840	1,565
流動負債合計	3,057	4,673
固定負債		
繰延税金負債	594	981
再評価に係る繰延税金負債	1,479	1,479
退職給付に係る負債	1,221	1,409
その他	285	292
固定負債合計	3,581	4,162
負債合計	6,639	8,836
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,706	20,000
資本剰余金	9,345	16,148
利益剰余金	△5,509	△1,935
自己株式	△1,462	△1,463
株主資本合計	34,079	32,748
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	751	1,749
繰延ヘッジ損益	142	△26
土地再評価差額金	377	377
為替換算調整勘定	280	456
その他の包括利益累計額合計	1,551	2,557
非支配株主持分	125	119
純資産合計	35,756	35,426
負債純資産合計	42,395	44,262

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	15,500	10,414
売上原価	10,647	7,824
売上総利益	4,852	2,589
販売費及び一般管理費	4,974	4,311
営業損失(△)	△121	△1,722
営業外収益		
受取利息及び配当金	233	226
補助金収入	—	244
その他	55	62
営業外収益合計	289	533
営業外費用		
持分法による投資損失	32	46
為替差損	4	9
租税公課	3	2
その他	22	9
営業外費用合計	62	68
経常利益又は経常損失(△)	105	△1,257
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	664
負ののれん発生益	—	142
特別利益合計	0	806
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	3	38
減損損失	5,262	42
投資有価証券評価損	—	420
特別退職金	—	100
特別損失合計	5,265	601
税金等調整前四半期純損失(△)	△5,160	△1,052
法人税、住民税及び事業税	137	27
法人税等調整額	△363	6
法人税等合計	△225	34
四半期純損失(△)	△4,934	△1,086
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,947	△1,087



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△4,934	△1,086
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	140	997
繰延ヘッジ損益	35	△168
為替換算調整勘定	△267	180
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	1
その他の包括利益合計	△96	1,011
四半期包括利益	△5,030	△74
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,036	△80
非支配株主に係る四半期包括利益	5	5

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年6月26日開催の第94回定時株主総会決議により、資本金を11,706百万円減少し、その他資本剰余金に振り替えた後、同日付でその他資本剰余金を4,662百万円減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

なお、株主資本の合計額には、著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,576	428	15,004	495	15,500	—	15,500
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	—	4	—	4	△4	—
計	14,580	428	15,008	495	15,504	△4	15,500
セグメント利益又は損失(△)	△281	209	△71	35	△35	△85	△121

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売および太陽光発電による売電であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない本社等の土地・建物(転用を検討中の土地・建物を含む)に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

繊維事業において、収益性の低下等により投資額の回収が見込めなくなった一部の生産拠点および物流センター等の事業用資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減損処理しております。また、報告セグメントに帰属しない全社資産において、一部資産の市場価格が下落したことから、帳簿価額を回収可能価額まで減損処理しております。

なお、繊維事業における当該減損損失5,160百万円および報告セグメントに帰属しない全社資産における当該減損損失101百万円は、当第3四半期連結累計期間に特別損失として計上しております。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,482	431	9,913	500	10,414	—	10,414
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	—	1	0	2	△2	—
計	9,484	431	9,915	500	10,416	△2	10,414
セグメント利益又は損失(△)	△1,973	295	△1,678	25	△1,652	△69	△1,722

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売、グループホームの運営および太陽光発電による売電であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない本社等の土地・建物（転用を検討中の土地・建物を含む）に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

繊維事業において、株式会社レナウンインクスの株式を取得し、連結子会社としたことにより、負ののれん発生益を特別利益に142百万円計上しております。

## (企業結合等関係)

## (取得による企業結合)

当社は、2020年8月20日開催の取締役会において、株式会社レナウンインクスの全株式を取得し子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、2020年10月1日付で全株式を取得しました。

## (1) 企業結合の概要

## ①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：株式会社レナウンインクス

事業の内容：繊維製品（肌着・靴下・その他）の製造・販売

## ②企業結合を行った主な理由

株式会社レナウンインクスは当社が強化を志向しているインナーウェアの販売構成比が高く、紳士・婦人ともに幅広い品揃えを有しており、販売ルートにおいても、百貨店からチェーンストアまで幅広い販路を構築しております。また、同社は、当社と親和性の高いレグウェア・インナーウェア商品を取り扱っておりますが、両者の商品は、主力商品群の商品構成をはじめ、企画・デザイン・調達面等における重複が少ないため、互いに補完関係があり、縮小する国内市場における競争力強化とシェア拡大に繋がることから期待できます。

これらを総合的に勘案した結果、当社グループが掲げる事業構造改革の方向性にも合致し、様々な部分で将来的なシナジー効果を発揮できるものと判断し、同社の株式を取得し子会社化いたしました。

## ③企業結合日

2020年10月1日

## ④企業結合の法的形式

株式取得

## ⑤結合後企業の名称

変更はありません。

## ⑥取得した議決権比率

100%

## ⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

## (2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

被取得企業のみなし取得日を2020年10月1日としており、かつ、当社と被取得企業との四半期連結決算日の差異が3ヶ月を超えないことから、貸借対照表のみを連結しているため、当第3四半期連結損益計算書については被取得企業の業績は含まれておりません。

## (3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

株式譲渡契約において秘密保持義務を定めていることから非開示としております。

## (4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 41百万円

## (5) 負ののれん発生益の金額、発生原因

## ①発生した負ののれん発生益の金額

142百万円

## ②発生原因

被取得企業の企業結合時の時価純資産額が取得原価を上回ったため、その差額を負ののれん発生益として認識しています。